

とねまち 議会だより



あなたと議会を結ぶ広報紙



『初夏の頃』

光龍会 中野 隆子 氏 作

5月臨時会
6月定例会

No. 139
2017. 8. 4

平成29年第1回議会臨時会〔議会の構成が変わりました〕 (正副議長就任挨拶 新議員紹介 委員会構成 議決等結果 議案概要) …	2
平成29年第2回議会定例会 (議決等結果 議案概要) …	4
討論 (議案・請願) …	5
意見書 東海第二発電所に関する特別委員会 …	6
町政のここが聞きたい (一般質問) …	7
第6回議会報告会 …	10
議会活動 …	11
議会日誌 (平成29年4・5・6月) …	12
お知らせ	

平成29年第1回議会臨時会

議会の構成が変わりました

5月12日に開催された第1回議会臨時会において、井原議長と五十嵐副議長から議長・副議長の辞職願が提出され、議会がこれを許可したことにより、議長・副議長の選挙が行われました。投票の結果、船川京子氏が第26代議長に、石井公一郎氏が第25代副議長に選出されました。

また、今臨時会では議案審議のほか、常任委員会委員、議会運営委員会委員及び厚生文教常任委員長の選任や一部事務組合議会議員選挙など、議会構成に係わる案件が新しい体制で審議等され新たなスタートを切りました。委員会の構成は右表のとおりです。（平成29年7月3日現在）



議長就任あいさつ

議長 船川 京子



この度、議会臨時会におきまして、議員各位の支持を頂き、議長に就任いたしました。誠実且つ真摯な姿勢で職務に取り組んでまいります。

少子高齢化対策が喫緊の重要課題になっている利根町。どうすれば若者の定住促進につながるかを真剣に考え取り組んでまいります。また、町民の皆様は議会をより身近なものに感じていただき、町民の代表として皆様の声を町政に反映させるべく、全力で働いてまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副議長就任あいさつ

副議長 石井 公一郎



この度、議員の皆様のご賛同を得て副議長に就くことになりました。私は、議長を補佐し各議員の意見を良く聞き、公正・公平な議会運営を心がけます。少子高齢化が進む中、町には約300戸の空き家があります。この空き家をうまく活用して利根町の情報を発信し、いかに定住人口を増やしていくか、また高齢化率が約40%ということは元気なお年寄りが多いとも言えます。魅力があると思ってもらえるような施策をとっていくことが大切であると考えます。

皆様のご指導、ご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。

新議員紹介



7月2日執行の利根町議会議員補欠選挙で新たに議員が決まりました。

住 所 利根町大字押戸996

氏 名 大 越 勇 一

所属常任委員会 厚生文教常任委員会

委員会構成

常任委員会

総務産業建設常任委員会

委員長 坂 本 啓 次
副委員長 高 橋 一 男
委員 新 井 滄 吉
今 井 利 和
若 泉 昌 寿
石 井 公 一郎

厚生文教常任委員会

委員長 花 嶋 美清雄
副委員長 新 井 邦 弘
委員 大 越 勇 一
石 山 肖 子
五 十 嵐 辰 雄
船 川 京 子

議会運営委員会

議会運営委員会

委員長 新 井 邦 弘
副委員長 五 十 嵐 辰 雄
委員 新 井 滄 吉
花 嶋 美清雄
坂 本 啓 次
高 橋 一 男



平成29年第1回 議会臨時会の議決等結果

会 期 平成29年 5 月12日（金） 審議議案 町長提出議案 4 件

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別											
			賛成	反対	新井(滄)	石山	花嶋	新井(邦)	坂本	高橋	井原	今井	五十嵐	若泉	石井	船川
議案第23号	利根町税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第24号	利根町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第25号	利根町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第26号	平成28年度利根町一般会計補正予算（第8号）の専決処分について	承認	11	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

「○」は賛成 を表します。

議長（船川京子議員）は、可否同数などのとき以外は表決に加わりません。

平成29年第1回 議会臨時会 議案概要

議案第23号 利根町税条例の一部を改正する条例の専決処分について …………… 【承 認】

議案第24号 利根町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分について …………… 【承 認】

平成29年 3 月31日に地方税法等の一部を改正する法律（平成29年法律第3号）が交付されたことに伴い、経過措置等について改正したものです。

議案第25号 利根町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について …… 【承 認】

平成29年 3 月31日に地方税法施行令の一部を改正する政令（平成29年政令第118号）が交付され、同年 4 月 1 日から施行されることに伴い、低所得者に対する均等割及び平等割の軽減措置を改正したものです。

議案第26号 平成28年度利根町一般会計補正予算（第8号）の専決処分について …… 【承認】

予算額に歳入歳出それぞれ1,923万9千円を減額し、総額をそれぞれ56億9,827万9千円とするものです。歳入の主なものは繰入金（財政調整基金繰入金）、地方消費税交付金の減額などで、歳出の主なものは民生費（臨時福祉給付金給付事業）の減額などです。

平成29年第2回 議会定例会の議決等結果

会 期 平成29年6月1日（木）～平成29年6月8日（木）
審議議案 町長提出議案 2件 議員提出議案 1件 請願 1件

【町長提出議案】

議案番号	件 名	議決結果	賛否数		議員名及び賛否の別											
			賛	反	新井(滄)	石山	花嶋	新井(邦)	坂本	高橋	井原	今井	五十嵐	若泉	石井	船川
議 案 第27号	平成29年度利根町一般会計補正予算（第1号）	原案可決	8	3	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	—
			討論		反			賛	賛		反			反	賛	—
議 案 第28号	工事請負契約の締結について	原案可決	9	2	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—

【議員提出議案】

議員提出 議 案 第1号	まもなく40年を迎える東海第二発電所の20年延長の申請をしないよう働きかけることを求める意見書	原案可決	6	5	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	—
--------------------	---	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

【請 願】

請 願 第1号	まもなく40年を迎える東海第二発電所の20年延長の申請をしないよう働きかけることを求める意見書提出に関する請願	採 択	6	5	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	—
			討論			賛									反	—

「○」は賛成、「×」は反対、「反」は反対討論、「賛」は賛成討論を表します。
議長（船川京子議員）は、可否同数などのとき以外は表決に加わりません。

平成29年第2回 議会定例会 議案概要

【町長提出議案】

議案第27号 平成29年度利根町一般会計補正予算(第1号) …… 【原案可決】

予算額に歳入歳出それぞれ2,199万1千円を追加し、総額を53億9,417万2千円とするものです。歳入の主なものは県支出金（児童福祉費補助金）、町債（過疎対策事業債）などで、歳出の主なものは民生費（保育所等補助金事業）、商工費（観光事業）、教育費（特別支援教育支援員派遣事業、小中学校非常勤講師配置事業、生涯学習センター管理事業）などです。

議案第28号 工事請負契約の締結について …… 【原案可決】

保健福祉センター改修工事契約について、議会の議決を求めるものです。
▽工事概要：屋根・外壁改修、塗装、陸屋根防水、給・排水工事等
▽契約方法：一般競争入札
▽契約金額：1億1,178万円
▽契約相手方：大昭建設株式会社

討 論 第2回定例会に上程された議案等に対し、下記の討論がありました。

【町長提出議案】

議案第27号 平成29年度利根町一般会計補正予算（第1号）

反対討論 新井 滄吉 議員

過疎地に指定された利根町が、過疎債という借金を使って花火を打ち上げる必要があるだろうか。本当に花火が見たかったら墨田川に行ったり、見るところはいっぱいあります。

人口減、財政状況が悪い過疎地が余裕のない生活を強いられている利根町民が、そして自分たちの税金を一瞬の花火に使われる非過疎地の人々はどう思うでしょうか。過疎債は大切に使ってほしいと願っているのではないのでしょうか。この点からこの予算に反対です。

反対討論 若 泉 昌 寿 議員

観光協会の助成金に対し納得できない。利根町が過疎地に指定されたが町民は過疎ということをあまり分らない。それを納涼花火に使うことには納得できない。町長は理事会で決定したと言ったが、このことについては、観光協会の臨時総会を開催し多数の意見を聞くべきと思う。

賛成討論 石 井 公一郎 議員

観光協会の理事会で決定して、町がそのとおりやろうと予算化したものであり、みんなが楽しみにしていることで、花火を見ない人まで借金を払うのかといっても町全体のことを考えれば、みんな楽しんでくれることもあっていい、今までずっとやってきたわけですので、私はこの予算については賛成します。

賛成討論 新 井 邦 弘 議員

過疎指定になったからこそ、利根町は地方創生に向けて町民と議員と行政が一丸となって事業を起こしていくことが、これからの利根町には必要だと思います。これから先5年、10年後を見据え、過疎地域に指定されたことにより、地方創生と共に過疎地域自立促進を図る必要があると考え賛成するものです。

賛成討論 坂 本 啓 次 議員

過疎債という名前は気になるが、利息の有利な交付金であり、これらを活用して観光協会の花火に使い、町民のやる気、元気を引き出す源になれば、これらの過疎債交付金の目的にかなうものであると考え賛成します。

【請 願】

請願第1号 まもなく40年を迎える東海第二発電所の20年延長の申請をしないよう働きかけることを求める意見書提出に関する請願

反対討論 石 井 公一郎 議員

3.11の福島第一原発の事故の怖さは十分に分かっているつもりですが、第1点目は地元の東海村は何の意思も示していない。第2点目は、日本原電で働いている人の雇用はどうなるのか心配です。第3点目は原子力に変わるエネルギーは火力になるということですが、環境問題、CO₂の関係はクリアできるのか疑問があります。第4点目は、日本原電は申請するともしないとも言っていない。このようなことから賛成はしかねます。

賛成討論 石 山 肖 子 議員

東海第二発電所から約80キロメートルにある利根町の住民として、天災による被害とは一線を画する破局的事故の被害を受けることを認めることは出来ない。福島第一原子力発電所事故の原因究明はまだなされておらず、日本の原子力発電の最終的に到達すべき状態に関する国民的合意も得られていない。東海第二発電所の運転20年延長は以上の理由で容認出来ないの、この請願に賛成します。

まもなく40年を迎える東海第二発電所の20年延長の申請をしないよう働きかけることを求める意見書を可決

下記の意見書が提出者：石山肖子議員、賛成者：井原正光議員、坂本啓次議員、新井邦弘議員、花嶋美清雄議員、新井滄吉議員から提出され、賛成多数により可決されたことから同意見書を関係機関に送付しました。

意見書提出先 茨城県知事 東海村長

意見書文

まもなく40年を迎える東海第二発電所の20年延長の申請をしないよう働きかけることを求める意見書

福島第一原発の事故後緊急事態宣言が発せられたままであるなか、溶け落ちた核燃料の状態、原子炉、格納容器内の状態が正確に調査出来ない状況が続く、事故原因についての確定的な結論も出ていません。この福島第一原発で事故を最初に起こしたのは、運転期間40年になる老朽原発である1号機でした。

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」（原子炉等規制法）第四十三条三の三十二によれば、原発の運転期間は「（使用前）検査に合格した日から起算して四十年」と定められており、原発の運転期間は原則40年であり、20年延長はあくまで例外であります。

福島第一原発1号機の事故にも表れている通り、原発の老朽化による危険性は無視出来ません。中性子照射脆化による圧力容器の劣化度合いを見極める調査結果解析の信頼性への疑問があることは致命的であり、地震の揺れによるひび割れから破断・破裂することへの予防対策は圧力容器の入れ替えしかありません。配管や電気ケーブルの劣化など他の問題を解決したとしても危険性の本質は払拭されません。

運転期間38年を超えた東海第二発電所は、2011年3月11日の巨大地震と津波によって被災した原発でもあり、敷地地盤が水平に1.2m、垂直に0.2mの地殻変動も受けているため、この原発に過酷事故が起きた場合、半径30kmに居住の約100万人の県民に被害を与えるばかりか、利根町がP P A（通過時の被ばくを避けるための防護措置を実施する地域Plume Protection Planning Area）となる可能性も出てくることは、福島第一原発の事故後、利根町が「汚染状況重点調査地域」に指定された経験からも想像にかたくありません。

また、東海第二発電所過酷事故の可能性ありきの広域避難計画策定は困難を極めており、実効性に疑問があります。東海第二発電所の運転期間20年延長により過酷事故の可能性が増し、健康被害や混乱のなかでの避難を余儀なくされる可能性があることは市民の負担と受益のバランスを無視したものだと言わざるを得ません。

以上のことから、日本原電に対して、まもなく40年を迎える東海第二発電所の20年延長の申請をしないよう要請することを強く求めます。

東海第二発電所に関する特別委員会

請願審査：「請願第1号」 まもなく40年を迎える東海第二発電所の20年延長の申請をしないよう働きかけることを求める意見書提出に関する請願

請願者 いのちをつなぐ会 小針 美夏さん ほか 151名

紹介議員 石山 肖子 議員

継続審査となっていた標題の請願が4月20日に「東海第二発電所に関する特別委員会」で審査されました。

紹介議員による請願の追加説明、委員による質問などが行われ、委員2人欠席でしたがその後採決となりました。

委員会での採決の結果は、賛成少数により不採択と決定したことから6月1日の定例会初日に会議規則第94条第1項の規定により、議長に「請願審査報告書」を提出しました。



▲特別委員会審査の様子

町政のここが聞きたい

一般質問

問 運動会活性化、ゆめ国体準備について

答 決定権は町にあります

新井 滄吉 議員

問 (1)利根町町民運動会活性化について

①町民に広く意見を求めたことはありましたか。

②幼稚園、小中学校、企業、警察、青年・婦人団体、各サークル等、全国に散らばる利根町出身者に参加要請・連絡はされましたか。

③役場主導ではなく、町民が自主的に行う工夫を何かされましたか。

(2)茨城国体(第74回国民体育大会)が2019年9月28日(土)～10月8日(火)開催されます。利根町では競技種目ではありませんがウォーキング大会を利根ヘルスロードで開催予定とのこと。利根町を全国にアピールする絶好のチャンスではないかと考えます。町民自身が利根町の歴史・文化・産業を深く知り、誇りを持てる町民となって温かいおもてなしをして、参加者に利根町にまた来てみたい、住んでみたいとなるような心に残るおもてなしを全町民の協力

で実現するため今から準備しなければと考えます。そこで以下の点について伺います。

①ウォーキング大会開催日時は決まっているのでしょうか。どこが決定権を持っているのでしょうか。

②参加者の宿泊体制をどう確保しようと考えているのでしょうか。柳田公苑活用、民泊体制等を検討しているのでしょうか。

③ヘルスロードでの案内標識・トイレ対策をどのように考えていますか。町民の意志・意欲をどう生かそうと考えていますか。接待所・案山子コンクール等町民・子どもたちの協力支援等が各地で見られますが検討を考えているのでしょうか。

答 (1)①利根町では、運動会を昭和47年から開催。直接意見を聞いたことはありません。

(2)①決定権は町にある。

町政のここが聞きたい

一般質問

問 過疎地域に指定され自立促進対策は

答 過疎地域自立促進計画策定に取り組む

五十嵐 辰 雄 議員

問 本町は、今年4月過疎地域に指定された。少子・高齢化と人口減少に伴って地域社会の活力が低下した市町村は総合的かつ計画的な対策が実施される。必要な特別措置を講ずることにより、自立促進を図り住民福祉の向上、雇用の増大、地域格差の是正を図る。

過疎地域自立促進特別措置法に基づく対策を実施するため町民の意見を聞き一意専心、過疎地域脱却に向け抜本的対策を問う。

答 過疎地域自立促進計画に基づいて行う事業の財源として、特別に発行が認められる地方債である。3年据え置き12年で償還、7割は地方交付税で措置される有利な起債である。全国で1,718の市町村があり、過疎地域は817で、47.6%の割合である。

利根町過疎地域自立促進計画策定に向け、事業の洗い出し作業を行っているが前倒し

で実施している。過疎地域自立促進計画書は次回9月議会の議決を経て国・県へ提出し許可を得る。

問 小・中学校教諭の超過勤務時間の実態とその改善策について伺う。文部科学省の2016年度に実施した勤務実態調査の結果が公表された。昨年10月から11月に全国の公立小・中学校の校長、副校長、教頭、教諭ら約2万人に連続7日間の勤務時間を聞いた。小学校教諭の34%、中学校教諭の58%が週60時間以上勤務している。利根町の状況と改善策を問う。

答 教諭の長時間勤務の是正は重要課題で、国や県の指針に従って業務改善に努めている。昨年度の利根町の教諭の1週間当たりの超過勤務は約10時間程である。部活動、生徒指導等を含めると過重労働となる。

問 中学生議会の開催について

答 中学生議会開催は賛成

若 泉 昌 寿 議員

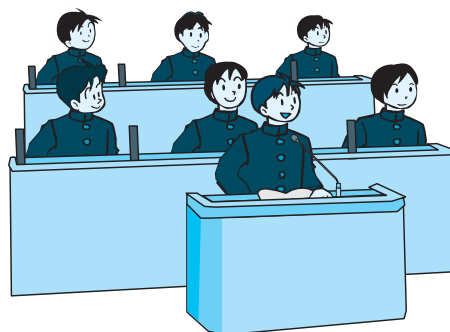
問 選挙の投票権は18歳から投票できるようになりました。18歳といいますが高校3年生で選挙権が得られます。そこで中学生から政治に関心を持っていただくため、中学生議会を開催してはと思います。

答 選挙権が満18歳に引き下げられたことにより、若い世代が政治に関心を持ち、積極的に政治に参加して関心を持たせる必要があると考えます。利根町の中学生による議会を開催することは意義あることと考えます。

問 高齢者免許証返納について、利根町は高齢化が進み5月1日で40.17%となり、県内の28年事故発生件数は1万455件発生している。うち高齢者の件数が3,367件です。このような状況の中、県内で29市町村が高齢者運転免許証自主返納に対する公共交通機関利用の優遇制度を実施して

いる。

答 当町は平成30年度事業実施に向けて今検討しているところです。



問 地域防災計画記載の総合防災訓練実施は

答 自主防災組織活動の活発化時点で考える **石 山 肖 子 議員**

問 地域防災計画の中で公助と共助の連携をどのように考えているか。防災行動計画（タイムライン）策定と、地域コミュニティの活性化にも寄与する地区防災計画作成を目指すためには、公助と共助の連携が重要な接点と考える。総合防災訓練の実施、通信機能の確保、災害対策に関する調査研究の現状と改善点を伺う。

答 公助の部分では職員防災訓練の実施、共助の部分では自主防災組織結成補助金、資機材整備補助金、防災組織活性化補助金、防災士資格取得補助金を交付しているがまだ連携はしていない。今後は自主防災組織と連携した防災訓練の実施に向け調査・検討を進めたい。総合防災訓練は自主防災組織の活動が活発になった時点で考えたい。利根町の情報メールの登録については各区長に総会をお願いしている。MCA無線機の各自主防災組織配置は要望があれ

ば検討していく。防災に関する調査研究については、利根川下流域・鬼怒川小貝川下流域・霞ヶ浦流域の減災対策協議会に加盟し調査研究している。



避難訓練の「おかしも」

問 現在募集している地域おこし協力隊の業務内容は。

答 フィルムコミッション業務、イベント活動、空き家空き地バンク事業物件の情報収集・案内・管理運営、移住定住、地域おこしに関する町の魅力発信につながる活動の4点。このような活動をシティプロモーションにつなげ、移住定住促進・地域活性化を図っていききたい。地域おこしの調査研究は、隊員の活動が第1段階と考える。

問 災害対策について

答 町地域防災計画が定められています **花 嶋 美清雄 議員**

問 災害時の復旧対策とライフラインを確保するための対応策について伺います。

答 ライフライン復旧については、応急復旧対策を迅速に進めるために関係機関と連携して、必要がある場合は施設の事業者が代替措置をとることとなります。町では、被害状況や応急措置の見通し等について、町民への広報のほか生活に必要な食糧、飲料水、毛布等生活必需品を供給するとともに、その他の生活必需品についても物資協定を結んでいる業者と連携して流通備蓄の確保に努めることとなります。

問 緊急車両の道路の確保はどのように行うのか伺います。

答 町では、利根町建設業協会と災害時における応急復旧対策の実施に関する協

定に基づき協力して交通路の確保をおこなうこととなります。また、道路管理者は、緊急車両の妨げとなる車両の運転者などに対して移動を命令し、不在の場合は管理者自ら移動すること、やむを得ない場合には、他人の土地を一部使用することや、竹木その他の障害物の処分が可能となっている。交通の確保は最優先として応急復旧対策を講じますので、道路管理者や警察などと連携体制を図っていきます。

問 就業時間中や登下校中に災害が発生したときの児童生徒、教員の安全確保について伺います。

答 震度5以上の地震が発生した場合は学校の授業等を直ちに中止し、児童生徒を安全な場所に避難させ、保護者による迎えがあるまで学校の安全な場所に待機をさせます。

町政のここが聞きたい

一般質問

問 町道の維持管理をどう進めるのか

答 3カ年実施計画に基づき実施する

石井 公一郎 議員

問 平成30年度以降も交付金等を活用し、計画を策定して事業を実施すると思うが、どの地区を優先的に進めるのか。

答 立木、大房地区の町道112号線、羽根野台地区の道路修繕工事、布川下柳宿地区の町道214号線の道路修繕事業を継続して行なっていく。

問 羽根野台のこれまでの実施状況と今後の計画は。

答 平成24年度より、車両や歩行者の安全な通行の確保として、蓋のない道路側溝から蓋つきの道路側溝にした。今後工事延長6,241mを実施する予定。

問 羽根野台以外の住宅団地内の道路もかなり傷んでいる。今後の進め方は。

答 住宅団地の開発から35年以上経過しており、舗装の劣化もかなり進んでいる状況である。道路パトロールを強化し、深刻な損傷が発見された場合は、速やかに緊急補修工事を実施する。

問 町全体を捉えた中で計画的に進めていくと思うが、どの地区の道路を優先的に進めていくのか。

答 町道の安全性を最優先に考えている。特に交通量の多い路線、通学路としての使用の状況等総合的に判断し選定する。

問 図書館の雑草は伸び放題、生け垣も荒れている。手入れすべきと思うが。

答 生涯学習課で所管している公共施設についてはできるだけ、きれいにして景観もよくしていきたい。

第6回議会報告会 報告



▲報告会の様子

平成29年4月22日（土）役場多目的ホールにおいて、「第6回議会報告会」を開催しました。議会報告会は、議員活動の状況を町民の皆様に報告・説明するとともに、意見交換の場として開催するものです。

当日は、平成28年度議会議案の総括報告、各常任・特別委員会の設置状況報告や質疑応答・意見交換が行われました。出席議員は12名、町民の方の参加は21名でした。

様々な質問や忌憚のないご意見、またアンケートの結果を踏まえ今後の議会活動に反映し、これからも情報公開と情報の共有化など町民の方のご意見の反映実現化を目指し、議会報告会がより開かれた場となるよう改善を図って参ります。

ご参加くださいました町民の皆様ありがとうございました。

議 会 活 動

議 員 活 動

議員研修（国会視察）

平成29年3月22日（水）、議員11人により国会議事堂（衆議院）を特別参観し、次のテーマについて担当から講義を受けました。

第1部 「土地改良制度の見直しについて」

[説明者]

農水省農村振興局土地改良企画課課長補佐

第2部 「まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地方創生推進交付金制度の概要について」

[説明者]

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局主査



▲講義の様子



▲研修を終えて

議員研修（小中学校視察）

平成29年6月13日（火）、全議員により利根中学校及び布川小学校の大規模改造工事の完成状況などを視察しました。



▲利根中学校視察の様子



▲布川小学校視察を終えて

議会広報編集委員会委員紹介



今号から編集委員が花嶋議員・今井議員に変わりました。

議会広報編集委員会（8名）

発行月	担当委員
【8月】	花嶋美清雄・今井 利和
【11月】	新井 邦弘・坂本 啓次
【2月】	高橋 一男・若泉 昌寿
【5月】	石山 肖子・新井 滄吉

利根町議会日誌（平成29年4・5・6月）

活 動 内 容	
4 月	
7	町立小中学校入学式
8	時局講演会
12	議会広報編集委員会
16	第38回利根フレッシュタウン自治会定期総会
20	第2回東海第二発電所に関する特別委員会
"	平成29年度利根町観光協会第1回理事会
22	第6回議会報告会
26	平成29年度利根町区長会総会
27	平成29年度市町村長・市町村議会議長会議
28	県南町村議会議長会
5 月	
2	議会運営委員会
"	利根町教育研究会総会
8	平成29年度総会準備理事会（利根町地固め唄保存会）
"	平成29年度通常総会（利根町地固め唄保存会）
9	議会運営委員会
11	平成29年度第36回利根町老人クラブ連合会ゲートボール大会
12	平成29年第1回議会臨時会
13	平成29年度利根町PTA連絡協議会総会
16	平成29年度利根町老人クラブ連合会総会
18	総務部会（利根町社会福祉協議会）
19	平成29年度利根町遺族会総会
23	第33回総会（利根町手をつなぐ育成会）

活 動 内 容	
5 月	
24	平成29年度取手地区防犯協会総会
"	平成29年度通常総会（利根町商工会）
25	平成29年第1回定例会（町村議会議長会議）
26	議会運営委員会
"	茨城県南水道企業団議会議員視察
27	町立小学校運動会
30	平成29年度利根町社会福祉協議会第1回理事会
31	平成29年度町村議会議長・副議長研修会
6 月	
1	平成29年第1回議会定例会（～8日）
3	第19回音のまちTONEふれあいコンサート
7	全員協議会
13	平成29年度第13回いきいきゴルフクラブ利根（老連）グラウンドゴルフ大会
"	平成29年度利根町観光協会第2回理事会
"	利根町議会議員小中学校大規模改修工事完成現地視察
21	平成29年度利根町社会福祉協議会第1回評議員会
"	平成29年度利根町社会福祉協議会第2回理事会
"	全員協議会
22	推薦団体代表者会議
26	平成29年度利根町観光協会臨時総会
"	利根町民納涼花火大会実行委員会
28	平成29年度利根町文化協会理事会（総会）

お知らせ

町議会を傍聴してみませんか

議会は町政の一端を知る絶好の場です。町政の実態を知るために、また、住民の皆様が選んだ議員が何をしているのかを今のように質疑し審議をしているかを知るためにも、ぜひ議会の傍聴にお出かけください。

5月臨時会、6月定例議会（委員会を除く）の傍聴者は延べ69人でした。

次回の定例議会は9月1日（金）から開催予定です。傍聴の予約は不要です。

町議会の詳細は議会会議録で

この「議会だより」は、町議会で行われた議論等の内容を要約してお知らせしております。もっと詳しく知りたい方は、「利根町議会会議録」をご利用ください。

議会会議録は、町立図書館と役場1階エレベーター前の資料閲覧コーナーにあります。

利根町ホームページ（<http://www.town.tone.ibaraki.jp/>）でも見られます。

発行／利根町議会・議会広報編集委員会

発行責任者／利根町議会議長 船川 京子

〒300-1696 茨城県北相馬郡利根町布川841-1

TEL 0297-68-2211 FAX 0297-68-7990

編集担当／花嶋 美清雄・今井 利和